

令和6年 9月 17日(火) 中央学校給食センター

【献立名】 小型ミルクパン 牛乳 ソース焼きスパゲッティ
里芋チップス 海藻サラダ お月見ゼリー



【ひとロメモ】

十五夜について知ろう

(食文化)

今日は中秋の名月、または十五夜と言って、1年の中で月が一番美しく見える日です。この時期の空は澄んでいて月がきれいに见えます。よく晴れた夜に、月をながめてみるのもいいですね。

月は昔から農業に深く関わってきました。人々は、月の満ち欠けを見て、いつ、どんな農作業をしなくてはならないのかを目安にしていました。月のおかげで食べものが育ち、収穫できることから感謝の気持ちとこれからの豊作を願って、里いもやだんご、枝豆など、その年にとれた食べものをお供えし、すすきを飾り、静かに満月をながめました。また、里いもをお供えすることから「いも名月」と呼ぶこともあります。

今日は、お月見にちなんで里芋チップスとお月見ゼリーが出ています。収穫に感謝して味わっていただきましょう。

令和6年 9月 17日（火） 第二学校給食センター

（献立名） 小型ミルクパン 牛乳 ソース焼きスパゲティ
海藻サラダ さといもチップス お月見ゼリー



【ひとロメモ】

十五夜について知ろう

（食文化）

今日9月17日は十五夜です。月見は、十五夜と十三夜に、秋の収穫物を供えて月をながめる行事です。

月見のお供えものには、ススキや団子、さといもなどがあり、それぞれに意味があります。月見のススキは、「依代」（神がよりつくもの）」といわれています。団子は、米を粉にして作った団子で、収穫への感謝の意味があります。そのほかさといもは、十五夜の時期にさといもがとれる時期でもあり、その恵みに感謝をする意味があります。今日の給食では、さといもを使ってチップスにしました。

今晚、美しい月が見られるといいですね。

令和 6 年 9 月 17 日 (火)

飯山学校給食センター

【献立名】 小型ミルクパン 牛乳
ソース焼きスパゲティ 海そうサラダ
里芋チップス お月見ゼリー

《今日の丸亀産の食材》

玉ねぎ きゅうり



【ひとロメモ】

十五夜について知ろう

(食文化)

昔の人が詠んだ歌に「月々に、月見る月は多けれど、月見る月は、この月の月」という歌があります。この歌は「毎月のように月を鑑賞できる月があるけれど、名月を見る月といえはまさに今月のこの月だね」という意味だそうです。「この月の月」というのは、旧暦の8月15日の月のことで、今年は今夜、見える月です。中秋の名月、または十五夜といって一年中で月がいちばん美しく見える日です。

満月を鑑賞するこの行事は、中国で始まり平安時代に日本に伝わってきました。この日には、昔から里芋、だんごなど、その年にとれた食べものをお供えし、すすきを飾り、静かに満月を眺めました。特に里芋をお供えすることから「いも名月」と呼ばれています。

そこで今日の給食は、旬の里芋を使った里芋チップスです。秋の恵に感謝して味わって食べましょう。